

自然観察のしかた

自然観察をするには、自分の決めたコースをできるだけゆっくりと歩いてみるのが大切です。本書で紹介したコースは、2 kmから5 kmくらいの距離ですから急いで歩けば1～2時間で歩けますが、自然観察をしながら行くと3～4時間はかかります。よく観察するためにはそれ以上時間がかかるかも知れません。

目、耳、鼻などの五感を働かせ、じっくり観察してください。きっと色々な動植物に出会うことでしょう。それが何なのか知りたいときはこの本を使ってください。その時に動植物がどんな環境に育ち、生活しているのかをまわりの自然と関係づけてみることも大切です。

ある季節に色々な環境の自然を観察して見ることもいいですし、一定の地域を一年間かけて観察することもおもしろいものです。観察したことや研究したことはまとめておく^てと理科の学習の参考になったり、市の科学展に出品したりすることができるかもしれません。

自然観察上の注意

1. 計画は家の人に必ず知らせておきましょう。特に帰着予定時刻は必ず知らせておきましょう。
2. 草や木の多いところではトゲのある草木もありますので、長袖のシャツや長ズボンを着るようにしましょう。
3. 海や川で水生生物を観察するときには、滑らない履き物が必要^{すべ}です。
4. 夏は危険な動物もいるので、深い藪^{やぶ}には一人では入らないようにしましょう。
5. 雨具や帽子は必ず持っていくようにしましょう。
6. 動植物の採集はできるだけしないで、スケッチをしたり、写真に写したりしておきましょう。
7. 直接手で触ると危険なこともあるので注意しましょう。
8. 自然を大切にすることからも、ゴミは持ち帰りましょう。
9. ルーペや虫メガネ・双眼鏡などがあると、もう一つ違った自然を観察することができ、便利です。

服装や持ち物

- 長そでのシャツ、長ズボン、帽子^{ぼうし}を用意してください。
- 両手を開けるために、リュックサックが便利です。雨具、タオルは必ず入れておきましょう。
- すべらないくつも大切です。



ぼうしは必ず
かぶりましょう



長そで
長ズボンで
行こう

- 虫めがねや双眼鏡・採集物を入れるビニール袋は、あれば役に立ちます。
- ノートやえんぴつそしてこの「小田原の自然」を忘れずに！
- 交通費や弁当・水とうはコースを考えて用意してください。